

和解後の状況を活かし 組織拡大に全組合員が 取り組もう



(組合員の購読料は
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル

国労東日本本部

発行責任者 伊藤秀樹

編集責任者 伊藤隆夫

No. 670 定価
20円

2008年

4月 9日

もう一人の仲間を国労に

関東

問題・課題を共有し 全体で前に入る運動の意思統一を!

契約社員の問題について、3年を経て試験ではおかしい。すでに業務が分かっているのだから希望者は正社員にするべきである。こうした問題をストライキで。」

「寒冷地について今後見直しを。(高崎) 試験合格しても年齢加重がない中では合格率が上がってもピンとこない。ジンジャー導入後、調整休日の買い上げが発生、問題である! 要員問題含めて、決められた休日はきちっと休む運動を。(新潟)

定年が60歳で、55歳以上の減額は大変な問題、早急に撤廃を。エルダーの問題も、ハーフ勤務希望者問題や体の弱い人など年金支給まで会社の責任で。職場では個人面談のほとんどを東労組の担当科長がやっている。これはおかしい。

新採対策・組織問題、試験問題含めてオルグは行って欲しい。エルダーは制度的に問題がある。(仙台)

工事事務所は団体交渉権を持っているが、不公平感の是正がされていない。(仙台)

全体的に合格率はあがっているが運転職場はアンバランスがありすぎる。(盛岡)

保安度向上ジャンパーの訓練が行われているが

職場では人が足りなくて大変な思いをして働いている。要員闘争を運動の柱に。(千葉)

貨物は乗務員以外ほとんどがロジスティックスに出向。ダイヤ改正でコンテナの空箱をトラック輸送で戻す状況が生まれている。(新潟)

新幹線延伸に伴い自分の職場がどうなるか心配している。自治体も並行在来線で動いてきている。国労の存在を示す取り組みを。助役が東労組の分会長。その人と個人面談では異常である。(長野)

拡大には国労組合員が元気を出すこと。VDT作業が野放しで視力を訴える仲間も多い調査して要求を。(水戸)

貨物で国労の再加入の仲間が多い。年金満額まで安心して働けるように、再加入者へのバックアップをしっかりとやって欲しい。(長野)

分会は春闘で地域の労組に学び、手帳付けから討論集会を開催。(水戸)

東北

一歩前に入る運動の意思統一を!

国労東日本本部は2月17日、東北(秋田・盛岡・仙台)ブロック全分会長会議を岩手県・盛岡市で、また春闘山場を迎えた3月8日、関東(千葉・水戸・長野・高崎・新潟)ブロック全分会長会議を東京・新橋において連続して開催し、2月3日に開催した東日本委員会以降の取り組みについて各分会長と意思統一をしました。両会議を通じた議題は、①今後の取り組み(春闘、賃金改善・制度改善要求等) ②一括和解以降の取り組みについて ③組織強化・拡大、新規採用者獲得 ④再雇用・エルダー社員の関係など4点について東日本より提起し意見交換を行いました。(尚、東京地本については日程の都合上、3月1日に開催された東京地本全分会長会議の中で提起しご意見をいただきました。)

今号は①国労東日本(東北、関東)ブロック別分会長会議、②国労本部主催の組織強化・拡大経験交流集会(旅客、貨物・自動車)の特集としました。以下、報告とします。



和解以降組合員の合格が増えている成果の一方、10回以上受験してもまだ受からない人もいますし、5等級試験に落ちている人も多し。会社の意図として特定の人を落とすしているケースもある。改善要求の中で具体的に触れて欲しい。(仙台・工場)

仕事を教える国労が落ちて教わる側が合格では

内心・・・他労組との合格の比率は?(仙台)

仙台DCのイベントに伴い通勤・学、時間帯に全指定臨時便を運行した。地元は怒っている。(仙台)

遠距離通勤に対しては現行のモニター制度適用の拡大を!(仙台)

改善の項目に寒冷地手当でも入れて欲しい。(盛岡)

問題がある、現在調査中。予備率の関係でいくと要員は不足、休日勤務が増えている。(盛岡)

組合はどこでも一緒に駄目で、国労として魅力のある組合でいることが大切。(仙台)

貨物は8年連続ベアゼ口、貨物社員の賃金実態は誰に訴えたらよいか分からない、生活できる賃金を。本州3社との差は広がっている。ストライキで。

拡大には国労組合員が元気を出すこと。VDT作業が野放しで視力を訴える仲間も多い調査して要求を。(水戸)

貨物で国労の再加入の仲間が多い。年金満額まで安心して働けるように、再加入者へのバックアップをしっかりとやって欲しい。(長野)

分会は春闘で地域の労組に学び、手帳付けから討論集会を開催。(水戸)

国労本部は3月9日～10日に旅関係、3月2日～3日に貨物・自動車職場の「組織拡大経験交流会」を開催しました。

全国からエリア・地方代表と、この間拡大を勝ち取った分会代表が集まり、拡大に向けた教訓の突き合わせ、今後の新規採用者獲得に向けた取り組みとつながりのある仲間への呼びかけの強化など全体で意思統一しました。

以下、旅、貨物・自動車で行った「経験交流会」の報告をします。

旅 勇気を持って打って出よう

本部の組織拡大交流会開催



東日本からは、2月に拡大を勝ち取った新潟地本と上野支部から報告がされた。

新潟で加入した仲間も東労組が混乱している状況で今やらなければいけないのか、助役試験も受

かっているが55歳になって発令はないだろう。自分も国労として頑張りたいと述べていることが伝えられた。

上野支部からは、昨年新規採用者が1名国労に加入したが、テンポラリースタッフ当時からつながりを持ち続け、現場配属日には他労組だけの接触を持たせないために分会が取り組んだこと、分会組合員の名刺を作り新採者に挨拶し手渡したことなど加入に至るまでの経過や支部・分会の取り組みが報告された。

また、西日本からは、加入したばかりの契約社

員の若い組合員の参加があった。

分散会も行われ、各会社の状況や拡大にあたっての悩み、財政的な負担について本部に求めることなど様々な苦労や意見が出され、2日間の交流は拡大に向けて自信につながるものとなった。

特に東日本の状況は特筆するものであり、一括和解以降24名の仲間が勇気を持って国労に加入しているが、不利益を受けることなく職場で頑張っている。また、指導車掌に見られるように、国労が指導者として指定され、国労について見習い者はまじめに取り組み姿勢に感銘を受けている。

一昨年までは入社Ⅱ東労組、日貨労と言う状況を作られていた。しかし昨年からは個人情報保護

法の施行や東日本との一括和解、貨物の和解協議が続く中で、現場配属まで未加入の状況になっている。

東日本本部と各地方、地区本部は、グリーンアドバイザー・チャレンジサポーターに国労組合員を指定することや配属日に他労組を優遇することなく公正・公平に新規採用者に労働組合の説明をさせることを本社、支社に対し申し入れしている。和解の周知徹底と合わせ新規獲得に向けて分会が創意工夫した取り組みが重要になっている。

大も少なくなっている、なぜ拡大が出来ないのか。団塊の世代を迎え財政も大変、高齢者雇用制度もあるが組織は減少とあってくる。安全問題もあり青年労働者と一緒になって学習を含め若い人につなげて行って貰いたい」と話された。

続いて、組織強化・拡大経験報告と問題意識について、全貨協木元副議長・自動車協議会磯部議長・青年労働者清水君（広島機関区）の3名からの報告と貨物紛争事件の中で労委経過報告を受け全体集会を終了し、その後、5分散会に別れて交流を



なぜ、拡大できないか 加ら、一歩前に

全国の「貨物・自動車」

職場から60名が参加し、久松中央執行委員の司会で開会。田中中央本部副委員長の主催者挨拶と問題提起では、「組織拡大には特効薬はない努力しなければだめだ。JR内でも女性社員・契約社員も国労に入っている。貨物・自動車もここ数年拡大も少なくない。なぜ、なぜ拡大が出来ないのか。団塊の世代を迎え財政も大変、高齢者雇用制度もあるが組織は減少とあってくる。安全問題もあり青年労働者と一緒になって学習を含め若い人につなげて行って貰いたい」と話された。

続いて、組織強化・拡大経験報告と問題意識について、全貨協木元副議長・自動車協議会磯部議長・青年労働者清水君（広島機関区）の3名からの報告と貨物紛争事件の中で労委経過報告を受け全体集会を終了し、その後、5分散会に別れて交流を

行い一日目を終了しました。

二日目は各分散会座長から報告がされ●労働条件について他労組組合員を含め取り組んできたが、権利だけでは若い人の信頼を受けることが出来ない。●サークルなどで努力して行っているが潰される。●60歳過ぎても国労運動の継承、嘱託者も含め目を向けて行く事も重要。

自動車の分散会報告では、●早期退職が増えて組織力が大変となつて来ている●組織減で団交の交渉員の人数も減らされた●新賃金制度導入で賃金が下がっている●試験について10数年受かっていない。以上、分散会からの報告を受けた。ま

とめでは、①職場で様々な要求をし、総団結が重要②和解の条件をしつかり生かす闘いをどの様に作っていくか重要③全体でやりきる決意を持ってもらいたい④加入用紙は常に持つ様に⑤拡大については、次期交流会ではなく定期全国大会に拡大報告が出来るように頑張りたい。

二日間の日程で開催して来たが、国労にとって悩まずに積極的に取り組んでいくことは重要課題であり、この経験交流会での議論を今後、各地方に持ち帰って全組合員が拡大をするという強い意志で取り組むことを確認し、最後に、木村東日本本部青年部長の団結ガンバローで終了した。

がん予防・検診から治療まで、ご自身とご家族の健康を大切に！

健康支援金キッス！
通院も入院も同様保障に！
がんの保険・病気・ケガの保険

健康応援団MAX
がん予防・検診から治療まで、ご自身とご家族の健康を大切に！

健康支援金キッス！
通院も入院も同様保障に！
がんの保険・病気・ケガの保険

アベニール 株式会社
〒105-0004 東京都港区芝5-4-20
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

Affac
アフラック (Affac) 株式会社
〒163-0456 東京都西新宿区2-11-1
TEL 03-3344-1899 FAX 03-3344-4036